

長崎県

TOGITSU TOWN



時津町

長崎県

時津町



時津町の全景

海と山と快適さがある町 時津町

時津町は、長崎市の北部に位置し、市街地までは、車で約20分という好立地で、町から長崎市内まで通勤通学する姿が多く見られる一方、町へも通勤や買い物などで多くの方が訪れる賑わいのある町です。

さらに時津港から長崎空港までは、高速船で約25分とアクセスが便利で、出張や帰省、2拠点ワークなどもスムーズです。

また、町を通る主要道路である国道206号沿いには、大型商業施設が軒を連ねます。

近年は町内への企業進出が進み、働く場があること、豊かな自然と便利な都市機能がバランスよく存在することなどの理由から、県内外からの転入者も多い町です。

これからも町の将来像である「生活都市とぎつー誰かが住みたくなる町へー」の実現に向けて、より快適で活力のある町づくりに取り組んでまいります。

Famous place / 名所



鯖くさらかし岩

鯖くさらかし岩 (継石坊主)

なんともユーモラスなこの名前は、その昔、この岩の下を通りかかった魚売りが、今にも落ちんばかりの岩を怖がり、「落ちてから通ろう」と待ったものの、いつまでも落ちずに、結局持っていた鯖が腐ってしまったという民話に由来します。国道206号から眺めることができ、今では「落ちない岩」として受験生に人気です。

1947年、急勾配の途中で満員の客を乗せた木炭バスのブレーキが突然効かなくなってしまう。道路の脇には深い崖。鬼塚道男車掌はとつさに車輪の下に飛び込み、自分の身体でバスを止めました。自らを犠牲にして乗客の命を救った鬼塚さんを讃え、さらに交通事故をなくそうという決意を込めて、お地藏さまが建てられています。

愛の地藏 (打坂地藏尊)



愛の地藏

「日本二十六聖人 上陸の地」記念碑

「日本二十六聖人」とは、1597年2月、豊臣秀吉の命によって長崎で磔に処された26人のカトリック信者のこと。時津港には、その上陸を記念した碑が建てられています。彼杵から小舟に乗った一行は雪の舞う夜中に時津に着き、飢えと寒さと疲労に耐えながら船の中で最期の夜を過ごしたといわれています。翌朝26人は時津街道を歩いて長崎へ向かい、西坂の丘で処刑されました。



「日本二十六聖人上陸の地」記念碑

茶屋(本陣)

長崎街道には、実は裏街道といわれるものがあります。長崎市西坂から浦上、時津を経て彼杵の海路に繋がる「時津街道」です。役人や商人、文人など様々な人たちが行き交ったと言われ、いまでもその名残があります。その一つが「茶屋(本陣)」。諸大名や幕府の役人らが休憩や宿泊をしていた、歴史的価値が高い建築物です。



茶屋(本陣)

崎野自然公園

緑豊かな森と、大村湾を一望する眺望に恵まれた自然体験型の施設。テントやバンガロー、新設したコテージなどを備えたキャンプ場や、草スキー場、バーベキューがリーズナブルな料金で利用できます。最近では、ヤギのさきちゃん（黒ヤギ）、のんちゃん（白ヤギ）が仲間入りし、人気を博しています。



炭と食材さえあれば、広いバルコニーで海を見ながらバーベキューが楽しめる。2階のお風呂からも大村湾の絶景が！1泊、4人まで15,400円（※1人追加1,100円、最大6名まで）



2018年6月にオープンしたコテージ

時津ウォーターフロント公園

大村湾沿いに広がる「時津ウォーターフロント公園」には、ウォーキングやランニング、愛犬の散歩をする人の姿が。空気の良い場所での運動をライフスタイルに取り入れてみてはいかがでしょうか？敷地内には遊具や芝生ひろば、隣には漁協の直売所もあつて、にぎわいを見せています。



膝や腰に優しいゴムチップ舗装がされた海に面した遊歩道

文化の森公園

町の中心部にある文化施設とぎつかりホールに隣接した、緑豊かな公園。吊り橋やスリル満点の滑り台などの遊具があり、子どもたちに人気です。広々とした芝生が広がり、ピクニックなどに利用する人の姿も見られます。桜の季節は、花見客でにぎわいます。



文化の森公園にかかる大きな吊り橋

鳴鼓岳自然公園

約350m～390mの峰が連なる鳴鼓岳は、比較的登りやすい山として、登山客が多く訪れています。中腹にある駐車場周辺の花園では、園児から高齢者、企業の方など、様々な住民の方と協働でどんぐりや花木などを育てており、大村湾や町全体を一望しながら、季節ごとに色づく自然の美しさを楽しむことができます。



鳴鼓岳駐車場からの眺め

時津町民総活躍プロジェクト推進委員会 十八銀行・親和銀行プロジェクト参画へ

魅力と活力あふれる「とぎつ創生」に向け、町民一人ひとりが輝ける社会を築くため、2016年に「時津町民総活躍プロジェクト」を策定。このプロジェクトは本町の魅力を磨き上げ、たくさんの方々に訪れていただくまちを目指した5年間の計画です。

産学官連携により「時津町民総活躍プロジェクト推進委員会」が2017年度に発足し、当初から、十八銀行と親和銀行の地域振興部の行員が委員として、また両行の時津支店長がオブザーバーとして参画。

月1回開催される委員会では、事務局と連携しながら、各プロジェクトや事業の検討等を行っています。

引き続き両行で時津町の地方創生に向けた動きを支援すべく当委員会に参画してまいります。



プロジェクトに参加する両行担当者



鯖くさらかし岩キャラクターをモチーフにして制作されたグッズ

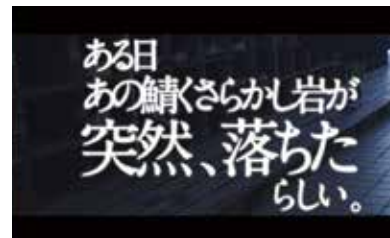
取り組みの一例 鯖くさらかし岩のPR

鯖くさらかし岩の「落ちそうで落ちない」イメージを活用し、受験生の応援を行おうと鯖くさらかし岩のキャラクターを考案し、受験生応援グッズの制作を行いました。

また、鯖くさらかし岩のアニメーションやテーマソングも制作。現在、テーマソングのプロモーション動画を制作中です。



時津町の地域資源の魅力を発信するPR動画



魅力発信に向けたPR動画の制作

本町の魅力を町内外に発信するため、話題性や魅力に富んだプロモーション動画の制作を行い、町ホームページやYouTubeなどで公開しています。

また、時津町の各種イベントや旬な情報をお届けしておりますので、ぜひご覧ください！



YouTube



時津町公式
ホームページ



観光情報サイト



Instagram